

非塩素系建築塗膜用剥離剤

エコデス

薄膜用 **低臭気** タイプ

エコデス-1

水系

厚膜用 **膨潤促進** タイプ

エコデス-2

溶剤系

薄・厚膜両用 **万能** タイプ

エコデス-3

水系

建築構造物改修・解体工事
アスベスト含有塗膜除去工事対応品

NEOS

NEOS 株式会社 **ネオス**

非塩素系建築塗膜用剥離剤「エコデス」シリーズとは？

建築物、プラント、鉄道、船舶等の塗膜に対して優れた剥離性を発揮します。

特に建築物解体・改修工事の際に、アスベスト含有塗膜を飛散させることなく除去が可能です。

エコデスシリーズの特徴

- 1 塗膜を軟化・膨潤させ、湿潤状態での剥離作業となるため、騒音、粉塵の発生が最低限に抑制できます。
(特にアスベスト含有塗膜除去の場合、剥離剤などで湿潤状態で剥離を行うことで、レベル3で除去することが可能)
- 2 低臭、中性タイプの環境対応型塗膜剥離剤です。(塩素系溶剤(ジクロロメタン等)を含みません)
- 3 エアレススプレー、吹き付けガン、刷毛、ローラーでの塗布が可能です。特にエコデス-2は厚塗りが可能です。
- 4 塩素系剥離剤に比べ蒸発が遅く、効果が長時間持続します。
- 5 剥離剤は産業廃棄物(非特別管理産業廃棄物)扱いで廃棄可能です。

エコデス-1

リシン、薄塗材等の薄膜に有効。
水系、低臭気により使用しやすい

エコデス-2

弾性塗膜、スタッコ等の厚膜に有効。
液ダレが少なく厚塗りが可能

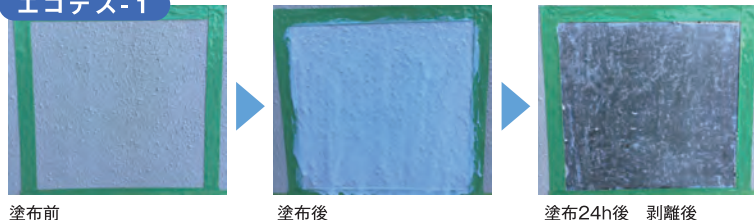
エコデス-3

薄膜、厚膜どちらにも有効。
水系でありながら塗膜浸透性が高い

	エコデス-1	エコデス-2	エコデス-3
タイプ	水系	溶剤系	水系
外観	乳白色	茶褐色	乳白色
臭気	僅かな特異臭	溶剤臭	溶剤臭
液性	中性	中性	中性
引火点	なし	93℃	なし
消防法	非危険物	非危険物 (指定可燃物可燃性固体類)	非危険物
有機溶剤中毒予防規則	非該当	非該当	非該当
毒物及び劇物取締法	非該当	非該当	非該当
化学物質排出把握管理促進法	非該当	非該当	非該当
容量	18kg/缶	18kg/缶	16kg/缶

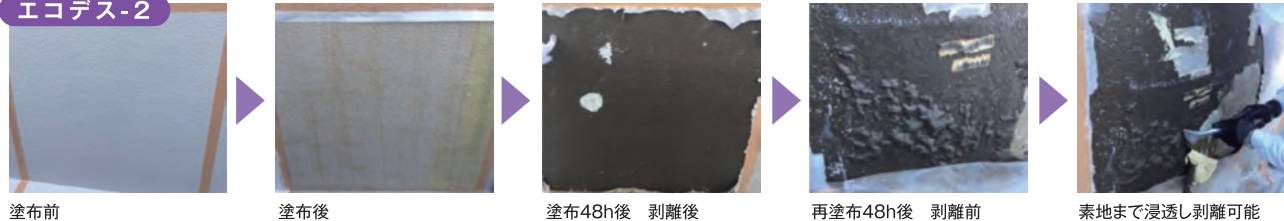
施工事例

エコデス-1



対象塗膜：防水型複層塗材E(凹凸模様) 膜厚：2mm程度
 施工1日目：気温17℃ 湿度80%
 施工2日目：気温13℃ 湿度41%
 使用薬剤：エコデス-1 塗布量：1kg/m² 1回塗布

エコデス-2



対象塗膜：アクリルコム-外壁化粧防水(高弾性塗膜) 膜厚：7mm程度
 施工1日目：気温28℃ 湿度43%(1回目塗布)
 施工3日目：気温27℃ 湿度48%(2回目塗布)
 使用薬剤：エコデス-2 塗布量：1kg/m² 2回塗布

● 標準塗布量 1.0kg/m²/回

標準塗布量

塗材		目安塗布量	目安剥離時間
薄塗材E	(樹脂リシン)	0.5kg/m ² ~1.0kg/m ²	8~18時間
可とう形外装薄塗材E	(弾性リシン)		
防水型外装薄塗材E	(単層弾性)		
複層塗材E	(アクリル系吹付タイル)	0.7kg/m ² ~1.5kg/m ²	24~48時間
防水型複層塗材E	(複層弾性)		
複層塗材RE	(水系エポキシ)		
厚塗材E	(樹脂スタッコ)		

塗布量はあくまで目安です。複層塗膜の場合は塗膜厚1mmに対して1.0kg/m²を目安としてください。

アスベスト含有塗材除去時の粉じん発生によるレベル分け

- アスベストには、飛散性・非飛散性という分類の他に、発じん性での分類もあります。
- これは、粉じんの起こりやすさで1～3のレベルに分類するもので、数字が小さいほど、粉じんが起る危険性が高く、廃棄の処理にかかる費用や設備が大きくなり、トータルコストが上昇します。
- プラストや動力工具などで除去したアスベストは粉じんとして飛散する為レベル1の扱いになる可能性が高くなります。
- アスベスト含有塗材を剥離剤を使用し湿潤状態で除去を行うことで、レベル3対応での施工が可能となります。
(建築物の改修・解体時における石綿含有建築用仕上塗材からの石綿粉じん飛散防止処理技術指針)

	対象となるアスベスト類	作業者への対策
レベル1	アスベストが吹き付けされているもの	著しく発じん量が多い作業で、作業場所の隔離や高濃度の粉じん量に対応した防じんマスク、保護衣を適切に使用するなど、厳重なばく露防止対策が必要なレベル
レベル2	吹き付けられていないもののうちアスベスト含有保温材と耐火被覆材、およびそれに類似した断熱材	比重が小さく、発じんしやすい製品の除去作業であり、レベル1に準じて高い暴露防止対策が必要なレベル
レベル3	アスベストが吹き付けられていないもの	発じん性が比較的低い作業で、破碎、切断等の作業においては発じんを伴うため、湿式作業を原則とし、発じんレベルに応じた防じんマスクを必要とするレベル

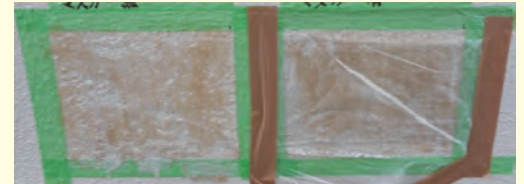
剥離作業の流れ

● 事前試験の実施 ●

- 実施工における旧塗膜の剥離可否、難易度、残存塗膜の状態、塗布量、軟化膨潤時間、施工効率を確認するために、必ず試験施工を事前に行う必要があります。
- 試験施工は可能であれば複数ヶ所行うことで、よりよく状況を把握できます。
(全体的な剥離傾向の確認と各部位における旧塗膜の把握の為)
- 旧塗膜の厚みにより塗布量が変化します。

飛散防護ネット・ポリエチレンシート・ポリプロピレンシート等で養生してください。

エコデス-2 塗布24h後
(シート養生 左:無し 右:有り)



エアレス塗装機・万能ガン・刷毛・ローラー等で塗布してください。
安全性の確保、剥離剤の浸透力の向上及び剥離剤の蒸発抑制のために、ポリエチレンシートを被せることも効果的です(右図参照)。

エコデス-2 塗布24h後



塗布後6～48時間を目安に軟化、膨潤効果を確認してください。
(標準目安は24時間としますが、塗膜の種類、膜厚、外気温等によって異なります)

刃付スクレーパー、ケレン棒などの手工具で軟化膨潤した塗膜をすべて除去してください。

旧塗膜除去後、水洗い等を実施頂き残存物が無いようにお願いします。
(水洗い実施の場合は十分に乾燥させてください)

適用する塗装の塗装仕様通り下地処理を実施し、塗替塗装を行ってください。

関係法令に従い、適切に処理してください。

解体物件の場合は不要

注意事項(安全管理)

【使用上の注意事項】

- 使用前に事前調査を行い適正条件を確認後、本施工を実施ください
- エコデスシリーズは原液のまま使用してください。
- 使用前に攪拌を行ってください。
- 湿度85%以上の場合は使用を避けてください。
- 気温5℃以下の場合は塗膜軟化までの時間が長くなる場合があります。
- 泥、苔、鳥糞の上には施工しないでください。剥離剤本来の効果が発揮しません。
- ポリエチレン、ポリプロピレン以外のほとんどのプラスチック、ゴム類への影響が懸念されるためご注意ください。
- 剥離作業時に使用する手工具が入らないような狭陰部には剥離剤を塗布しないでください。
- 剥離作業に使用した道具類(吹付けガン、エアレススプレー、刷毛、ローラー、ケレン棒、スクレーパー等)の洗浄はIPA(イソプロピルアルコール)、NPA(ノルマルプロピルアルコール)などのアルコール類もしくはアセトンをご使用ください。洗浄力は落ちますがラッカーシンナーや洗浄シンナーも使用可能です。
- 直射日光の当たらない冷暗所で保管し、使用後は密栓してください。

【安全対策】

- 使用前には必ず安全データシート(SDS)をお読みいただき、理解するまで取り扱わないでください。
- 関係法令を順守し労働災害防止に努めてください。
- 使用時には飲食又は喫煙は行わないでください。
- 保護手袋、保護衣、保護眼鏡、保護面、呼吸器用保護具など適切な保護具を着用してください。
- 十分な換気を行ってください。

【救急措置】

- 吸入した場合は空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させてください。気分が悪い時は、医師の診断/手当てを受けてください。
- 皮膚に付着した場合は多量の水と石鹸で洗ってください。皮膚刺激または炎症等皮膚に異常が生じた場合は、医師の診断/手当てを受けてください。
※エコデスシリーズは皮膚への刺激が少ないため、付着しても気づかない場合がありますのでご注意ください。
- 眼に入った場合は清浄な水で、15分間、注意深く洗ってください(コンタクトレンズを容易に外せる場合には外して洗うこと)。眼の刺激が続く場合は、医師の診断/手当てを受けてください。
- 飲み込んだ場合は口をすすいでください。
- その他体調に変化がある場合、すみやかに医師の診察を受けてください。

【廃棄上の注意】

- 廃棄においては、関連法規ならびに地方公共団体の基準に従ってください。都道府県知事等の許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理してください。
- 廃棄物の処理を委託する場合、処理業者等に危険性、有害性を十分告知の上処理を委託してください。

【関係法規制等】※エコデスシリーズ単体について記載

- 有機溶剤中毒予防規則：該当せず
- 特定化学物質障害予防規則：該当せず
- 消防法：非危険物
- 毒物及び劇物取締法：毒物及び劇物に該当せず
- PRTR法：指定化学物質等に該当せず
- 廃棄物の処理及び清掃に関する法律：特別管理産業廃棄物に該当せず
- 特定物質の規制等によるオゾン層の保護に関する法律：特定物質に該当せず



■本社 〒650-0001 神戸市中央区加納町6丁目2番1号(神戸関電ビル)
TEL.(078)331-9382(代) FAX.(078)331-9319

<https://www.neos.co.jp/>

■支店	東京	〒101-0047 東京都千代田区内神田1丁目8番1号(三井ビル) TEL.(03)3291-6522 FAX.(03)3291-6531
■営業所	北関東営業所	〒370-0851 群馬県高崎市上中居町51-1(E900ビル 2階) TEL.(027)310-5071 FAX.(027)310-5072
	中部営業部	〒450-0001 名古屋市中村区那古野1丁目47番1号(名古屋国際センタービル) TEL.(052)563-3871 FAX.(052)561-6965
	西日本営業部	〒650-0001 神戸市中央区加納町6丁目2番1号(神戸関電ビル) TEL.(078)331-9382 FAX.(078)331-9319
	北九州営業所	〒802-0002 北九州市小倉北区京町3丁目15番15号(辰巳ビル) TEL.(093)551-1581 FAX.(093)521-0087
■中央研究所	滋賀	〒520-3213 滋賀県湖南市大池町1の1 TEL.(0748)75-3161 FAX.(0748)75-0418
■工場	滋賀	〒520-3213 滋賀県湖南市大池町1の1 TEL.(0748)75-1211 FAX.(0748)75-1329

お問い合わせ・ご注文は